

めぐみ厚生センター恵友会 会報

第 337号

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替 めぐみ厚生センター恵友会 口座番号： 01770-6-12389
 事務局 〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584 (めぐみ園内) : tel 0952-34-7722



『育成会から保護司会へ』

佐賀県保護司会連合会会長
 社会福祉法人めぐみ厚生センター評議員
 村岡 洋



皆様、ご存じのように、昨年は東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックの年でした。私は、昨年六月半ばまで所属しておりました「一般財団法人佐賀県をつなぐ育成会」の代表として佐賀県の聖火リレーに参加する機会をいただきました。昨年五月十日、ギリシャのオリμπピアで採火された聖火を、吉野ヶ里公園（弥生時代）から王仁博士顕彰公園（飛鳥時代）まで、令和の時代を生きている私たちが運ぶことに、何か厳粛で神秘的なものを感じました。ラストの王仁博士顕彰公園に入ると和太鼓演奏の歓迎を受け、百済門前では神埼市長に迎えていただきました。「障がいを抱える人が地域で安心・安全に暮らせる社会の実現を願い、明日への希望を胸に」この区間の最終ランナーを務めさせていただきます。有難う御座いました。さて、「一般財団法人佐賀県をつなぐ育成会」の会長を辞任後は、育成会に関わる前から携わっていた、法務省の委嘱を受けて保護司として活動しています。昨年度からは「小城・多久地区保護司会」と「佐賀県保護司会連合会」

の「舵」とり役になりました。「保護司」とは何を保護する人？誰の保護をする人？など様々な方に聞かれます。言い換えれば知名度の低さが窺われます。十年程前までは、地域に自分が保護司であるという事は伏せて活動するようにと指導されてきましたが、近年、保護司は、犯罪や非行を犯した人たちの立ち直りを地域で支えるボランティアであることを公表して、地域の方々と共に犯罪や非行防止に努めるようになると変わりました。



全てではないですが、刑務所や少年院を仮出所及び仮退院された

方が、刑期の満了目を迎えるまで保護観察対象者として関わって行きます。保護観察所の保護観察官と協働して保護観察を受けている人に面接を通じた助言や指導を行っています。また、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行の無い安全で安心な地域社会を築くため活動しています。佐賀県には定員五五〇名の保護司がいます。今年には過ぎましたが、毎年、七月は法務省が主唱する「社会を明るくする運動」の強化月間及び再犯防止啓発月間があります。今年も、第七十二回「社会を明るくする運動」のテーマは、「#生きづらさを、生きていく」でした。一昨年来のコロナ禍は、私たちの日常生活を一変させました。当たり前であった人との触れ合いが難しいものとなり、望まない孤独や社会孤立が生まれ、各々の中に伏せられていた「生きづらさ」が浮き彫りになりました。障がいがある人・罪を犯し社会復帰に努力している人・ご家族・そして、私たち自身の誰もが乗り越えることのできない、「生きづらさ」を抱えながら生きています。このような時だからこそ、お互いが寄り添い、支えあいながら「生きていく」こと「誰一人取り残さない社会」の大切さを感じます。今後は、更生保護の一員として・保護観察所・更生保護女性会・BBS会・関係機関・団体と連携して、更生保護活動に邁進していく所存でございます。

《 恵友会 第21回総会 報告 》

去る、6月1日に「書面決議」にて、第21回総会を行いました。書面決議に関しては、4月～5月に佐賀県内のコロナ感染拡大が続き、5月に600名を超える時がありました。役員も福祉関係者が多いことを考慮して、前回に続き書面決議になりました。

- 議題1 令和2年度～3年度事業報告
- 議題2 令和2年度～3年度会計決算報告及び監査報告
- 議題3 協議事案「会報誌の年6回白黒印刷から年4回のカラー刷りについて」
- 議題4 令和4年度～5年度事業計画案
- 議題5 令和4年度～5年度会計予算案
- 議題5 役員改選



右記議題について会長1名、副会長2名、監査1名、幹事4名の計8名の全員承認を受け、顧問にも確認していただきましたことをご報告いたします。

議題1・2についてはコロナの感染予防のため各施設での夏祭りや視察研修は2年連続で中止となり、毎年消毒液を各施設に寄贈したこと、富士学園クラスター発生時には備品や飲食の寄付を行ったことの報告がなされた。

議題3について、会報誌を年6回（白黒）から年4回（カラー）の発行（8月・11月・2月・5月）にすることが可決された。（この件は下記に別途説明をしています）

議題5の役員改選において、1名の役員から退任の申し出があり承認された。新役員には、佐賀市在住の野中明文氏と平山修子入員を監事に推薦し、今まで監事をお願いしていた岡部洋子入員に幹事をお願いすることを事務局から提案し、承認された。また、「会長が会計を兼務することは不適切ではないか？」と会長自らの提案があり、2名の副会長のうち古賀洋子副会長が会計を兼務することも承認された。

最後に、長きに亘り監事を引き受けてくださった富士町の今村宏様のご退任にあたり、心からの感謝と御礼を申し上げます。富士学園の夏祭りには「内野太鼓」で盛り上げていただきました。本当にありがとうございました。



＝ 恵友会会報誌の発行変更のお知らせ ＝

上記、総会報告でも説明しましたが、今年度から会報誌が2ヶ月毎の発行から、年4回の発行となります。

今まで予算等の都合で提案出来ませんでしたでしたが、コロナで各行事も中止となり、時々会報誌もカラーで出していました。その結果、「カラーで見やすい」「イメージがわかりやすい」等のコメントもいただき総会で提案させていただきました。これからは春夏秋冬バージョンで発行いたします！

会員の皆様方の作品も、カラーでしっかりと紹介いたします。また、これまで同封していた「センターたより」については、恵友会の発送に合わせて郵送いたしますことをご承知下さい。

（事務局）

＝ 会報誌発行のご紹介 ＝

皆様ご存じのように、会報誌は生活介護事業所「どりいむ」の利用者の方が「会報誌折り」と「発送準備」の作業を担っておられます。一通一通丁寧に・・・。



新役員紹介 (敬称略)

会長	副島 勉
副会長	福島龍一
副会長 (会計兼務)	古賀洋子
幹事 (書記)	堤 宏隆
幹事	松浦善人・山口貞雄
幹事	山崎圭子・岡部洋子
監事【新】	野中明文・平山修子
顧問	鳴原貞雄

よろしくお願いたします

◎ 会費納入

ありがとうございました。

（令和4年6月30日現在）
（敬称略）

- 古賀洋子、白浜みゆき、多良勝利
- 山口勝正、大渡2名（多布施理容）
- めぐみ園家族会59名、大崎茶舗
- 山口貞雄、内川商事株式会社、鶴田乳業
- 十時忠秀・やよい、梅本隆司・富実子
- 藤田真奈美、園田健介、島田折枝
- 大坪博幸、大金通浩、丸秀醤油
- 武下正文、ピースハイム職員5名
- 富士学園家族会151名
- 富士学園職員15名



◎ ご寄付

ありがとうございました。

（令和4年6月30日現在）
（敬称略）

- 鈴木成喜、武下正文
- 十時忠秀・やよい



※ 編集後記 ※

今年も猛暑日が続きますね。皆様いかがお過ごしでしょうか？今月号から、会報誌がリニューアルしました。まだ不慣れですが、スキルアップしながら楽しい会報誌作りに務めます。この夏も『ウイズコロナ』で乗り切ります。ましよう。

